



5年生 錆勢186名

みんなで考え方

「共に生きる」って?
~自分の幸せって?
みんなの幸せ~って?



応答は
ひきだす



講師はステージの上から
同じ線上に立つ。

「ふ」「く」「し」の
折畳んだ紙を持つ3人の生徒
歌に沿って広げていく。

社協スタッフも 話しに沿って
ポイントの言葉を白板に貼付
子ども達を見下ろして話さない!



全ての生徒が
対象だから
右にも左にも
後ろにも
問い合わせる
油断できないよ。身を乗り出して講師の行方を観てる。



眼の見えない
3人のウォーリー···
みんな「意地悪さん」
知らん顔している···
怖々歩く、
方向感覚は?
やっと講師のところ
にたどり着く
「よかったねえ」
抱きしめる。



休憩の間に障害物
を設置する
今度のウォーリーには
ヘルパーさんがつく。
周りのみんなも
「親切さん」になる
応援の声が飛び交う



給食も一緒に···



眼の不自由なウォーリーに どうやって教えてあげたらいいかな。時計回りだね。 そして···オ・ワ・リ

「先生だってこわかったあ」
ヘルパーさんの生徒は 一生懸命···
「助ける手」と「助けられる手」
一緒に幸せの気持ちになれることが
「ふくし」なんじゃないかなあ。